

2026年6月24日



## 「めいぎんポジティブインパクトファイナンス」の契約締結について ～フジ建設株式会社のサステナブル経営をサポート～

名古屋銀行（頭取 藤原 一朗）は、フジ建設株式会社（代表取締役 高山 靖徳）と「めいぎんポジティブインパクトファイナンス」の契約を締結いたしましたのでお知らせします。

当行は、今後もグループ一体となり、銀行の既存のビジネスモデルに捉われない持続可能な収益機会の創出及び付加価値の高いサービスを提供し、さまざまなお客さまの経営課題解決を通じて地域社会とともに未来を創造してまいります。

### 記

1. 融資金額 300百万円
2. モニタリング期間 15年3カ月
3. 資金用途 設備資金（本社屋建設資金）
4. PIF評価書 添付資料をご参照ください。

※株式会社格付投資情報センター（R&I）のセカンドオピニオンは、下記URLをご参照ください。

<https://www.r-i.co.jp/rating/esg/index.html>

### 5. フジ建設株式会社の概要

代表者	高山 靖徳
本社所在地	名古屋市守山区吉根二丁目 3006 番地
業種	解体工事業、産業廃棄物処分業・一般廃棄物収集運搬業
創業年月	1980年1月

### <記念盾贈呈式の様子>



左より フジ建設株式会社 代表取締役 高山 靖徳 氏  
 株式会社名古屋銀行 常務取締役 清水 貞晴

参考：「めいぎんポジティブインパクトファイナンス」の取り扱い開始について

[https://www.meigin.com/release/files/20220111meigin\\_PIF.pdf](https://www.meigin.com/release/files/20220111meigin_PIF.pdf)

以上

# ポジティブインパクトファイナンス評価書

## ～フジ建設株式会社～



2026年6月24日  
株式会社名古屋銀行  
法人営業部 法人コンサルティンググループ

## はじめに

株式会社名古屋銀行は、フジ建設株式会社に対し、めいぎんポジティブインパクトファイナンス（以下、めいぎん PIF）を実行した。

本件取組にあたって、株式会社名古屋銀行は国連環境計画金融イニシアティブ（以下、UNEP FI という。）が策定した「ポジティブインパクト金融原則」及び、環境省が策定した「インパクトファイナンスの基本的考え方」に則り、フジ建設株式会社の企業活動における包括的なインパクトを分析し、充実したサステナビリティ経営に向けた KPI を設定した。

## 借入人概要

借入企業	フジ建設株式会社
所在地	愛知県名古屋市守山区吉根二丁目 3006 番地
従業員	99 人（2026 年 3 月末時点）
売上高	2,810 百万円（2026 年 3 月期）
事業内容	解体工事業、産業廃棄物処分業・一般廃棄物収集運搬業

## 融資条件概要

融資形態	証書貸付
融資金額	300,000,000 円
資金使途	設備資金（本社屋建設資金）
融資・モニタリング期間	15 年 3 カ月



## 目次

1. 企業情報	.....
①会社概要	
②沿革	
③企業理念	
④許可証一覧	
2. 事業内容	.....
①解体工事・アスベスト除去工事	
②産業廃棄物運搬・処理事業	
③道路清掃業	
3. その他の活動・CSR活動	.....
①取得許認可等	
②SDGs 宣言	
4. インパクトの特定	.....
①インパクトマッピングによるインパクト分布	
②インパクト分布図	
③国内のインパクトニーズ	
5. 測定する KPI	.....
①ポジティブインパクトの拡大	
②ネガティブインパクトの縮小	
6. インパクト管理体制	.....
7. モニタリング方法	.....
8. 総括	.....

## 1. 企業情報

### ①会社概要

会社名	フジ建設株式会社
創業年月	1980年1月
設立年月	1988年1月
資本金	50,000,000円
代表者	代表取締役 高山靖徳
決算日	3月31日
従業員数	99名(2026年3月末時点)
本社所在地	愛知県名古屋市守山区吉根二丁目3006番地
名駅オフィス	愛知県名古屋市西区名駅一丁目1番地17号 名駅ダイヤモンドビル404号
尾張旭営業所	愛知県尾張旭市平子町東86番6
瀬戸営業所	愛知県瀬戸市太子町79番3
長久手営業所	愛知県長久手市大字岩作高山61番5
長久手駐車場	愛知県長久手市西原1丁目1番1
豊田営業所	愛知県豊田市明和町二丁目62番7 トワスクエア103号室
大阪営業所	大阪府八尾市西弓削1-96(株式会社ミドリテック内)
豊田リサイクルセンター	愛知県豊田市八草町丁田1233番6
海上駐車場	愛知県瀬戸市海上町22番1
吉根土場	愛知県名古屋市守山区大字吉根字小屋前2261番1
津島土場	愛知県津島市百町字南古農73番地
グループ企業	株式会社愛環 アサヒ工業株式会社 株式会社ヨシミ 株式会社ミドリテック

②沿革

年月	概要
1980年1月	高山鐘徳 フジリース創業(個人事業)
1988年1月	有限会社フジ建材リース設立(尾張旭市吉岡町)資本金 800 万円
1992年5月	有限会社フジ機工(グループ会社)設立
1994年9月	フジ建材リース株式会社に改組。資本金 1000 万円に増資
1995年6月	高山靖徳 取締役就任
1996年7月	豊田リサイクルセンター開設 (産業廃棄物中間処理施設)
2000年6月	資本金 3000 万円に増資
2002年1月	有限会社フジ機工 (グループ会社) 吸収合併、資本金 3800 万円
2002年6月	ISO9001 認証
2002年7月	本社移転 (尾張旭市大塚町)
2003年1月	有限会社フジコンストラクション (グループ会社) 設立
2003年12月	ISO14001 認証
2004年4月	瀬戸営業所開設 (瀬戸市海上町)
2004年4月	のぞみ建設株式会社 (グループ会社) 設立
2005年5月	瀬戸営業所移転 (瀬戸市太子町)
2006年11月	株式会社ふじ屋 (グループ会社) 設立
2007年7月	高山靖徳 代表取締役就任
2012年4月	フジ建設株式会社に改組。資本金 5000 万に増資 本社移転 (名古屋市守山区吉根)、尾張旭営業所開設 (尾張旭市平子町)
2013年2月	のぞみ建設株式会社、株式会社フジ勢に社名変更
2013年2月	フジ不動産株式会社 (グループ会社) 設立、資本金 800 万円
2015年12月	株式会社愛環 フジ不動産株式会社を合併、資本金 3000 万円に増資
2016年8月	株式会社植木設備 (尾張旭市大塚町)、グループ会社化
2017年7月	株式会社植木設備をアサヒ工業株式会社に社名変更、本社移転 (尾張旭市平子町) 資本金 3,000 万円に増資
2018年6月	株式会社愛環の完全子会社化
2020年2月	名古屋市優良エコ事業所 認定
2020年10月	健康宣言チャレンジ事業所 認定
2021年2月	ISO 9001・ISO 14001・ISO45001 認証取得

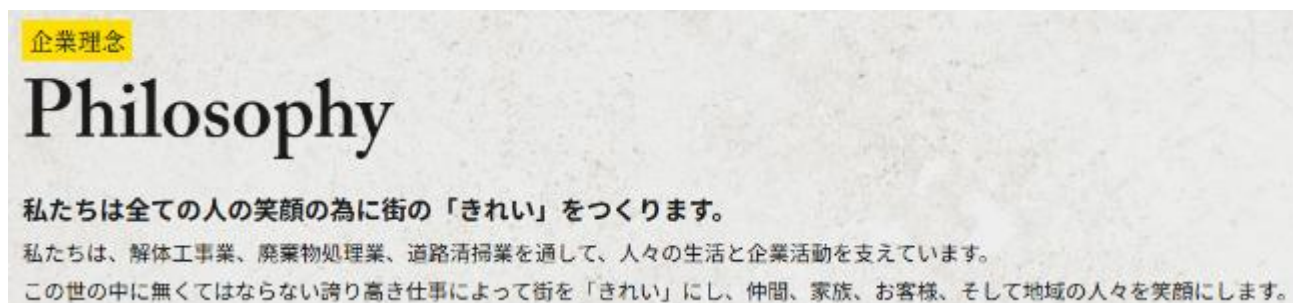
2021年8月	名古屋市障害者雇用促進企業 認定
2021年11月	ISO 22301 認証取得
2022年12月	厚生労働大臣 「もにす（障がい者雇用に関する優良事業主）」 認定
2023年3月	名古屋市 「なごやSDGs グリーンパートナーズ」 認定
2027年 未定	本社屋移転予定



【本社屋イメージ】



### ③企業理念



当社企業理念については、HPに掲載されており、主要業種である解体工事業を中心に、廃棄物処理業、道路清掃業が人々の生活と企業活動を支える自負を宣言している。街の「きれい」とは解体や廃棄物処理、道路清掃など具体的な活動による清潔さは前提として、そこに暮らす人々の不安や不満などを軽減し、より暮らしやすい生活を送れるようにすることを命題としている。

解体業では役割を終えた古い建物を新しく生まれ変わらせることで街全体を新しくしていくこと、これを未来の街づくりとして捉えて、次世代に繋がなくてはならない事業である、としている。

上記の企業理念から、具体的な目標を2つ掲げている。

1つ目は、「解体工事による住民の不安・不満・不快を軽減し、安心へと繋がる新たな解体工法の開発を進め、騒音・振動のない解体工事を実現すること」であり、常に技術革新を意識し、より効率的かつ効果的な解体作業を目指している。

2つ目は、「リサイクルプラントにおける廃棄物の適正処理により、リサイクル率100%を実現すること」である。

当社は「成し遂げることが難しいからこそ挑む価値がある。」として困難であることを認めつつも、大きな理想を掲げて、従業員と共に上記理念を共有している。

④許可証一覧

産業廃棄物収集運搬業許可

許可自治体	業区分	許可番号	許可期限年月日	優良認定日	許可証
東京都	産廃収運業 (積替えを含まない)	第01300016156号	令和10年03月10日	令和3年03月11日	<a href="#">PDF --</a>
福井県	産廃収運業 (積替えを含まない)	第01807016156号	令和10年01月18日	令和3年01月19日	<a href="#">PDF --</a>
長野県	産廃収運業 (積替えを含まない)	第02009016156号	令和13年12月10日	平成29年12月11日	<a href="#">PDF --</a>
岐阜県	産廃収運業 (積替えを含まない)	第02100016156号	令和12年01月04日	令和5年01月05日	<a href="#">PDF --</a>
静岡県	産廃収運業 (積替えを含まない)	第02202016156号	令和12年10月04日	平成28年10月05日	<a href="#">PDF --</a>
愛知県	産廃収運業 (積替えを含まない)	第02300016156号	令和12年05月20日	令和5年05月21日	<a href="#">PDF --</a>
三重県	産廃収運業 (積替えを含まない)	第02400016156号	令和12年01月10日	令和5年01月24日	<a href="#">PDF --</a>
滋賀県	産廃収運業 (積替えを含まない)	第02501016156号	令和12年06月19日	令和5年06月20日	<a href="#">PDF --</a>
大阪府	産廃収運業 (積替えを含まない)	第02700016156号	令和12年10月23日	平成28年10月24日	<a href="#">PDF --</a>
兵庫県	産廃収運業 (積替えを含まない)	第02803016156号	令和8年08月18日	令和元年08月19日	<a href="#">PDF --</a>
奈良県	産廃収運業 (積替えを含まない)	第02900016156号	令和9年05月22日	令和2年05月23日	<a href="#">PDF --</a>
島根県	産廃収運業 (積替えを含まない)	第03200016156号	令和8年08月21日	令和元年08月22日	<a href="#">PDF --</a>
豊田市	産廃収運業 (積替えを含む)	第09010016156号	令和12年05月20日	平成28年06月09日	<a href="#">PDF --</a>
東京都	特管収運業 (積替えを含まない)	第01350016156号	令和10年03月10日	令和3年03月11日	<a href="#">PDF --</a>
岐阜県	特管収運業 (積替えを含まない)	第02150016156号	令和14年01月29日	平成30年01月30日	<a href="#">PDF --</a>
静岡県	特管収運業 (積替えを含まない)	第02251016156号	令和12年10月04日	平成28年10月05日	<a href="#">PDF --</a>
愛知県	特管収運業 (積替えを含まない)	第02350016156号	令和14年02月27日	平成30年03月08日	<a href="#">PDF --</a>
三重県	特管収運業 (積替えを含まない)	第02450016156号	令和13年12月21日	平成29年12月22日	<a href="#">PDF --</a>

産業廃棄物処分業許可

許可自治体	業区分	許可番号	許可期限年月日	優良認定日	許可証
愛知県	産廃処分業 (中間処分のみ)	第02320016156号	令和10年11月12日	令和4年05月31日	<a href="#">PDF --</a>
豊田市	産廃処分業 (中間処分のみ)	第09020016156号	令和10年11月12日	令和3年12月13日	<a href="#">PDF --</a>

## 2. 事業内容

当社の事業は「解体工事・アスベスト除去工事」、「産業廃棄物処理」、「廃棄物収集運搬」、「道路清掃」、「汚染土壌処理・土質改良」に大別され、『街の「きれい」をつくる』という経営理念のもと、事業を拡大している。

これらの事業は各事業が連携し合いながら環境に配慮した解体、回収を実践しており、多くの工事実績により蓄積されたノウハウと高い施工技術により、顧客のニーズと環境配慮を両立させた施工を実現している。

### ①解体工事・アスベスト除去工事

解体工事は当社の主要事業である。木造・鉄骨造・RC造・特殊建造物まで、あらゆる建築物の解体施工を行っており、多種多様な重機、車両を保有している為、建物の大小を問わず施工が可能である。また建物の構造によっても解体プロセスを個別に構築し、現場ごとに最適な仮設養生の設置、散水などの飛散防止対策を行い、近隣への負担を最小限に留めるよう細心の注意を払っている。

RC造りのビル解体においては、鉄筋部は切削機や溶接機などを用いて切断・撤去する。建物が大型であり工事が大規模かつ長期に亘るケースが多い為、前述の大型の重機を駆使し環境と安全に最大限の注意を払う。官公庁の集合住宅や公的機関の建物のほか、市街地の開発に伴うビル解体などの施工実績も多数有している。鉄骨造りの倉庫の解体工事では、屋根や壁などをまず切断・分解・撤去し、解体された鉄骨やその他廃棄物が分別され、金属部分は再利用、リサイクルを行う。



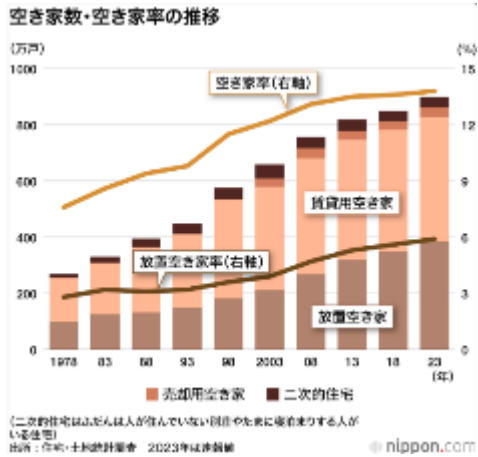
大型ビル解体



鉄骨倉庫解体

また、当社で一番受注件数が多いのが木造建築の解体事業である。建物内部から解体作業が行われるが、これには壁や床材・配管・電気配線などの除去も含まれる。住宅地では特に近隣住民への騒音や振動の配慮を重視した作業が行われる。近年、古くなった木造建築家屋がそのまま放置されるケースが急増しており、倒壊・火災などの大きなリスクを抱えている。総務省の2023年10月1日時点の住宅・土地統計調査（速報値）によると、全国の空き家数は前回18年調査から50.7万戸増えて、899.5万戸となり、1993年の447.6万戸から30年で倍増している。

古い家屋の解体には先述の配管、電気配線除去などのノウハウが必要になる。高い技術力を有した当社の事業が拡大することで倒壊・火災のリスクを軽減し、社会問題となっている空き家数減少に貢献、解体後の新たな価値を生み出すことにつながっている。



空き家数・空き家率推移



木造建築の解体

上記のようなビル、倉庫、民家などの一般的な建造物に加えて、タンクなど、特殊な建造物の解体工事を請負う。内部の安全確保や残存物の処理が行われた後に解体作業を実施し、大型クレーンや重機などを使用し、段階的に分解し適切に撤去をする。

また、内部改装・解体については、リフォームやリノベーションのニーズ増加により施工数が伸びている部門である。具体的には、建物の内部の壁・床・天井・内装仕上材などを解体工事する作業であり、戸建住宅だけでなく、店舗なども施工する。

内部改装・解体は、既存の建物の長寿命化に貢献しており、廃棄物の削減、人々の暮らしの質向上という新たな価値を創造している。

また、当社は上記の解体事業を通じてアスベスト対策に取り組んでいる。アスベストは非常に細かな繊維で、吸い込むと肺に沈着し、数十年という長い潜伏期間を経て中皮腫や肺がん、石綿肺などの深刻な健康被害を引き起こす為、解体時に適切に除去を行わないと、粉じんが広範囲に飛散し、作業員だけでなく近隣住民にも甚大なリスクを及ぼすため、徹底した飛散防止対策が極めて重要である。当社は解体事業における様々なノウハウを蓄積しており、石綿作業主任者等の有資格者も多数在籍している。その指示の下、適切なアスベスト飛散防止措置を施し、法令を遵守し、レベル1～レベル3までのすべてのレベルの除去工事に対応している。



内装工事・解体



アスベスト除去工事

解体事業は当社の主要業種であり、大型建物から民家まで多くのニーズに対応し、その施工においては、近隣住民への配慮や従業員の健康保持についても細心の注意を図りながら実施している。

## ②産業廃棄物運搬・処理事業

解体事業の両輪として機能する産業廃棄物処理事業では、リサイクル事業として中間処理を行っている。解体事業の過程において発生する廃棄物は木くず、廃プラスチックなど多岐にわたり、それらを現場で収集・運搬・荷下ろし・選別・運搬までを一貫して実施している。産業廃棄物処理は許認可の取得とコンプライアンスに則った適正な分別が必要であり、当社がそれを担うことで地域の環境保全や循環型社会へ貢献している。

また、解体業に付随した収集だけでなく新築物件の建築廃材や、工場等からの廃棄物など、多種多様な現場から収集運搬業、処分業者として優良産廃処理業者の認定を受けているのが強みである。

当社の産業廃棄物中間処理場では、ほぼ 100%当社の車両によって収集運搬され、受け入れ後は写真撮影し、初期選別が行われる。

品目、種類毎に分類し、不適切な物質や危険物などは除外され、選別ラインに沿って分別作業が進められ、それぞれ適正な処理方法に割り当てる。

当社が愛知県から許可を受けている産業廃棄物の一日当たりの受入量は 345.6 m<sup>3</sup>と多く、日平均で廃プラ 60 m<sup>3</sup>、木くず 40 m<sup>3</sup>を搬入しており、月間でフレコン約 10,400 袋、8 m<sup>3</sup>コンテナ約 1,300 箱の受入をしている。

当社の中間処理場にて受け入れられた産業廃棄物のリサイクル率は全体で 80~85%に上り、その大半をチップ・廃プラスチックが占めている。当社は適正な選別の徹底、新たな設備の積極的な導入により、リサイクル率の向上を目指している。

### 【産業廃棄物処理事業の流れ】



①受入・リサイクルセンターへ運搬



②木くず、廃プラスチックの荷下ろし



③選別（品目ごとに手作業）



③運搬（品目ごとに処理場へ）

当社は上記の運搬・処理において、ダンプ・トレーラー・ユニック等、各種車両を多彩に揃えている。所有台数は50台以上を誇っており、産業廃棄物の収集、運搬のほか、土砂の運搬や重機の回送にも対応する。



廃棄物回収の様子



土砂運搬の様子

前述の通り、50台以上の運搬車両・作業車両をより効率的に機能させる為、車両の動向をデータ化し、配車の効率化や生産性の向上にも心掛けている。作業時間、距離、作業場所の特性（都市部、市街地など）を把握し、配車することで作業場所の近隣住民への安全・健康に配慮した収集・運搬が可能となっている。

また、事故発生時のインシデントを自社専属の安全顧問と共有し、定期的に安全委員会を実施している。委員会では、安全パトロールの報告や、安全対策、優良ドライバー育成活動についての会議を行っている。

【所有する車両（一例）】



回送車



大型ダンプ



アームロール



ユニック

### ③道路清掃業

当社は官公庁からの業務委託や下請けからの受注によって、公共の場である道路の清潔と美観の維持、安全性の向上につながる道路清掃業務を行っている。

インフラ整備にも注力することで住みやすい街づくりにも貢献し、危険物の除外による安全性の確保にも貢献している。

#### 【道路清掃の流れ】



①アームロールによる事前回収



②散水車による事前の水撒き



③道路清掃車による清掃



④監督車両による指示・フォロー



⑤ゴミの回収・処分場へ運搬

当社は、解体事業、産業廃棄物処理事業、道路清掃業によって様々な地域の再生、美化、資源循環に大きく貢献している。これらの事業は独立した事業ではなく互いが関連し合うことで大きな成果を發揮している。

当社は、これからも事業全体でサプライチェーンの増加、リサイクル率の改善について引き続き取り組み、上記の効果を拡大する。また、新社屋建設を予定しており、自社での太陽光発電、電気車両導入も予定している。

### 3. その他の活動・CSR活動

#### ①SDGs 宣言

当社はSDGs宣言を策定、自社HPにおいても公開している。内容は4項目に大別され、それぞれ「雇用・福利厚生」、「安全な職場環境の確保」、「環境保全」、「住みやすい街づくり」となっている。

各4項目は具体的な施策が織り込まれており、「雇用・福利厚生」(Point01)においてはフレックス制度の導入や育児・介護が出来る環境づくりに注力している。

「安全な職場環境の確保」(Point02)においてはISO45001(労働安全マネジメントシステム)の取得、安全パトロールの実施を行っている。

「環境保全」(Point03)においては、「エコアクション21」の取得や前述のISO取得が挙げられる。

「住みやすい街づくり」(Point04)においては、名古屋市の「エコ優良事業所」の認定や、後述のSDGs活動により具体的な施策を行っている。

**Point 01**

### 仲間の働き甲斐と家族の安心

資格取得報奨金制度や社内講習会、勉強会などの学び場を設けるとともに、社員の自主的な活動による委員会制度や、企業力の向上を目的とした改善提案制度を通じて、成長とやり甲斐のある働きやすい環境をつくる仕組みがあります。

女性にとっても働きやすい環境を整えるために、2019年からフレックス制度を導入しました。ワーク・ライフ・バランスの推進や働きながら育児・介護ができる環境づくりなどの取り組みを行っています。



**Point 02**

### 安全できれいな現場づくり

自社の中間処理場では、解体現場や新築現場から出た産業廃棄物を仕分けしています。適正な処分やリサイクルができるように、適正な仕分けを行っています。

各現場でのKY活動の徹底や定期的な安全パトロールにて、安全できれいな現場づくりを目指しています。

2021年2月にISO45001(労働安全マネジメントシステム)を取得しました。



**Point 03**

### ゼロエミッションへの取り組み

中間処理施設での適正分別だけではなく、新たな施設開発を視野に入れたゼロエミッションの実現への取り組みを進めます。また、本社内でも適正なごみの分別や節約をすることによって環境負荷を減らす努力をしています。2017年4月に「エコアクション21」の認証を取得。2021年2月にISO45001(労働安全マネジメントシステム)を取得しています。

積極的な認定取得とともに、環境保全活動への取り組みを意識して行っています。



**Point 04**

### 地域の人々が安心して生活できる現場づくり

毎朝社屋周りの清掃を行うと共に、委員会活動にて近隣公園や現場の清掃に取り組んでいます。

2018年6月に名古屋市の「エコ優良事業所」の認定を受けています。

当社で取り組んでいるSDGs活動を公表することによって、自社活動に責任を持つことと共感によるパートナーシップの強化を期待しています。



当社のSDGs宣言

## ②地域・顧客との連携

当社は年に1回「安全大会」を開催し、全社員・事業者が参加し、危険性の低減、安全性の向上について考える機会を設けている。また、地域の清掃活動の参加、緑化推進、自然保護にも注力している。

具体的には、八竜緑地の保全活動への参加や、名古屋市栄地区で行われているゴミ拾いボランティアへの参加である。八竜緑地は、当社本社と同じ守山区に位置し、平成13年には環境省より「生物多様性の観点から重要度の高い湿地」として認定されている。今年3月には「自然共生サイト」として環境大臣の認定を受けた緑地である。

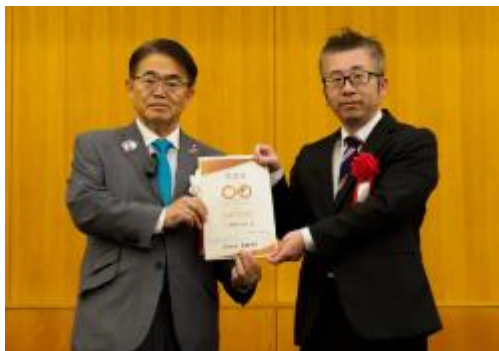


八竜緑地保全の様子



栄地区清掃ボランティアの様子

上記のような地域との連携に加えて、自治体との連携も深めている。前述のエコアクション21の取得に加え、2025年6月には長久手市が取り組む教育環境の整備事業に対して100万円の寄付を行っている。また、2026年1月には愛知県からあいちカーボンニュートラルチャレンジ「ブロンズ認定」を取得した。



「ブロンズ認定」の様子



長久手市との贈呈式の様子

#### 4. インパクトの特定

##### ①インパクトマッピングによるインパクト分布

名古屋銀行は事業性評価におけるビジネスモデル（非開示）によりフジ建設株式会社の主要、関連業種を特定し、UNEP FI が推奨するインパクトマッピングからポジティブインパクト及びネガティブインパクトの分布を調査した。フジ建設株式会社の業種カテゴリは多岐に渡る為、分布図は主要業種の掲載に限定する。

分布図中の「★★」は重要な影響があるカテゴリ、「★」は影響があるカテゴリを示す。フジ建設株式会社の事業活動については「★★」「★」の影響をすべて検討する。川上の事業活動についてはフジ建設株式会社が直接関与できないため次の事項を検討する。ポジティブ面では川上の事業でポジティブな影響の促進やネガティブな影響の緩和にフジ建設株式会社の事業が貢献できることがないか検討する。ネガティブ面では川上・川下の事業において重要な影響があるか影響が及ぶ地域での対応のニーズが強いカテゴリについて、取引関係の管理などを通じて緩和に貢献できるか検討する。

分析の対象となる事業活動がインパクトマッピングの業種分類に含まれる特定の事業の場合、当該事業とは無関係なインパクトカテゴリについては検討しない。

「雇用」に関しては多くの事業においてポジティブ・ネガティブの両面の影響がある。全社的な人事戦略・雇用管理などの横断的な対応について別途検討する。

②インパクト分布図（掲載は主要業種のみ）

・川上の事業

インパクトカテゴリ	川上の事業							
	【 2013 】		【 4100 】		【 4210 】		【 4220 】	
	プラスチック及び合成ゴム素材製造業		建築工事業		道路・鉄道建設業		公益工事業	
	Positive	Negative	Positive	Negative	Positive	Negative	Positive	Negative
ポジティブ	ネガティブ	ポジティブ	ネガティブ	ポジティブ	ネガティブ	ポジティブ	ネガティブ	
水（入手）							★★	
食料								
住居			★★					
健康・衛生			★	★		★		★
教育								
雇用	★	★	★	★	★★	★	★★	★
エネルギー			★	★			★	
移動手段					★★			
情報							★	
文化・伝統				★		★		★★
人格と人の安全保障				★				
正義								
強固な制度・平和・安定								
水（質）		★★		★		★		★
大気		★		★		★		★
土壌		★★		★		★		★
生物多様性と生態系サービス				★		★		★
資源効率・安全性		★		★		★		★
気候		★		★★		★		★
廃棄物		★★		★★		★		★
包括的で健全な経済	★		★		★★		★★	
経済収束			★		★★	★	★★	★

当社は解体業、非金属の回収事業が主要業種となる為、川上の事業においては主に建設業、プラスチック及び合成ゴム素材製造、建設業用機械製造業を抽出した。加えて、自治体や国からの受注も行っている為、公益事業を川上の事業に掲載する。全体として環境面にネガティブインパクトが散見される。

当社は川上の事業で発生した素材が老朽化した際、解体及び廃棄物の回収することを主業種としており、「廃棄物」のネガティブインパクト縮小に大きく寄与している。当社の解体事業、回収量が増加すればそれに比例して川上の事業が発生させる環境負荷の影響が低減されるといえる。

・当社の事業

インパクトカテゴリ	同社事業							
	【 3811 】 非有害廃棄物収集業		【 3821 】 非有害廃棄物処理・処分業		【 4311 】 解体業		【 4669 】 廃棄物・スクラップ及び他に分類されないその他の製品の卸売業	
	Positive	Negative	Positive	Negative	Positive	Negative	Positive	Negative
	ポジティブ	ネガティブ	ポジティブ	ネガティブ	ポジティブ	ネガティブ	ポジティブ	ネガティブ
水（入手）	★		★					
食料								
住居					★			
健康・衛生	★★		★★	★			★	
教育								
雇用	★	★	★	★	★	★	★	★
エネルギー			★					
移動手段								
情報								
文化・伝統	★							
人格と人の安全保障								
正義								
強固な制度・平和・安定								
水（質）	★★		★★	★★		★		★
大気		★		★		★		★
土壌	★★	★★	★★	★★		★		
生物多様性と生態系サービス	★★		★★	★				★
資源効率・安全性	★	★	★	★		★	★	
気候		★		★		★	★	★
廃棄物	★★	★	★★	★		★★	★	★
包括的で健全な経済	★		★					
経済収束							★	

当社の主要業種である、解体業、非有害廃棄物収集業、廃棄物・スクラップ及び他に分類されないその他の製品の卸売業においてインパクトを検証する。水（入手）、住居、健康・衛生、雇用、エネルギー、

文化・伝統、包摂的で健全な経済等にポジティブインパクトが見られる。雇用については、従業員に対しフレックスタイム制を導入しているとともに、女性の働きやすい環境や介護への理解を示している。当社のこのようなスタンスは雇用にもポジティブインパクトを与えており、KPIにも設定することでさらなるポジティブインパクト拡大を目論む。

包摂的で健全な経済への影響として、川上の建設事業との建設⇒解体⇒廃棄物処理⇒建設という循環を生み出しており、ポジティブな影響を与えているといえる。このことから当社の事業の拡大においてもKPIを設定する。また、水（質）、土壌、生物多様性と生態系サービス、資源効率・安全性、廃棄物等の環境面において、非有害廃棄物就業及び非有害廃棄物処理・処分業で大きなポジティブインパクトが見られる。これは、当社の廃棄物収集事業により、廃棄物が再利用されることにより資源の効率化、廃棄物の減少に寄与することが大きい。当社は回収した廃棄物についてリサイクル率 100%目標としている為、KPIに設定する。一方で同事業及びその他の抽出した業種においても、環境面のネガティブインパクトは多くみられる。

解体事業におけるネガティブインパクトについては、当社の解体事業は解体した際の建設用資材の廃材や電気機器製品等を不用品として廃棄するのではなく、当社の回収事業と連動して再利用や再販売することになり、ネガティブインパクト縮小を図っている。

尚、特に重要なインパクトカテゴリと対応するSDGsのゴールは、下記の通りである。

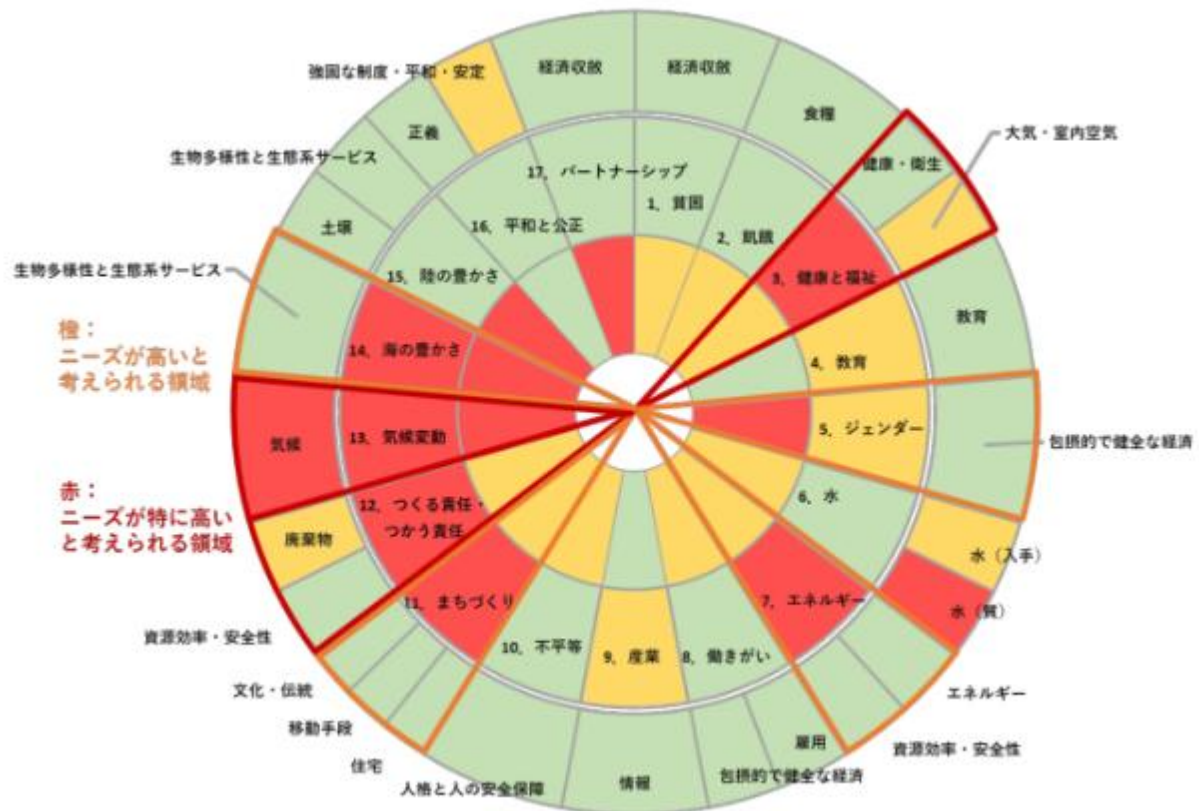
※対応するSDGsのゴール



③国内のインパクトニーズ

環境省が策定した「インパクトファイナンスの基本的考え方」における国内のインパクトニーズは下記の図によって表される。特に取り組むべき SDGs を赤色、取り組むべきであるが不十分な SDGs を黄色、その他を緑色としているものである。

名古屋銀行が特定したフジ建設株式会社のインパクトと対応する SDGs のゴール「8、11、12」に対して、全て赤色もしくは黄色のゴールに該当するものとなっており、国内のインパクトニーズとの整合的である。



## 5. 測定するKPI

### ①解体事業の拡大による豊かな街づくり

項目	内容
インパクトの種類	経済面、環境面でポジティブインパクトを拡大
インパクトカテゴリ	資源効率・安全性、廃棄物、包括的で健全な経済
関連する SDGs	 
対応方針	<ul style="list-style-type: none"> <li>解体事業を中心に顧客増加、件数増加し、解体後の資材のリサイクルも進めることで、廃棄物の削減、住みやすい街づくりを実現する</li> </ul>
KPI	<ul style="list-style-type: none"> <li>2031年3月期までに、解体工事施工実績を年間1093件とする（2025年3月期452件）</li> <li>2031年3月期までに、取引先（工事受注先、工事外注先、その他仕入先）を1,472先とし、工事受注先については1,100先とする（2025年3月期1,037先、うち工事受注先800先）</li> <li>廃棄物回収後のリサイクル率（重量ベース）を2031年3月期決算までに73%とする（2025年3月期68%）※尚、リサイクル率とは、回収した廃棄物全体に対し、リサイクル品と廃棄物に分別後、処分場で最終処分するもの以外の割合を表す。</li> </ul> <p>※各 KPI の以降の目標は改めて設定</p>

②従業員のクオリティーオブライフ、多様性の向上（ポジティブ拡大）

項目	内容
インパクトの種類	社会面でポジティブインパクトを拡大 社会面でネガティブインパクトを縮小
インパクトカテゴリ	「雇用」
関連する SDGs	
対応方針	<ul style="list-style-type: none"> <li>・女性従業員の再雇用や役職昇進による手当の周知、男性従業員には育児休暇制度の周知及び取得を推奨することで各種認定を取得し、従業員の働きがいを向上させる。</li> </ul>
KPI	<ul style="list-style-type: none"> <li>・2027年3月期までに健康経営優良法人認定を取得する</li> <li>・2027年3月期までに女性の昇進比率（課長級より1つ下位の職階にある女性が課長級に昇進した割合／同男性の割合）を80%以上とし、えるぼし認定を取得する（2026年3月期実績0%）</li> <li>・2027年3月期までに男性の育休取得率を50%以上とし、くるみん認定を取得する（2026年3月期実績0%）</li> </ul> <p>※各 KPI の以降の目標は改めて設定</p>

## 6. インパクトの管理体制

フジ建設株式会社は高山社長を中心としてサステナビリティ経営充実の為の施策を各事業部が連携してSDGsの施策を検討・実施・検証する体制が整っている。

めいぎん PIF におけるインパクトについては、高山社長と総務部が中心となり、管理・達成へ向けた施策を実施する。

### インパクト管理者

最高責任者	代表取締役 高山靖徳
管理部署	経理グループ 課長 高山瑞佳子

## 7. モニタリング方法

フジ建設株式会社に対するめいぎん PIF のモニタリングは、インパクト管理者と名古屋銀行の担当者(法人営業部サステナビリティ推進担当及び営業店担当者)により年1回以上の協議を通して実施する。年1回以上の協議は、下記のプロセスで行われる。

項目	内容
1. 内容報告・実績開示	設定した KPI の達成度を確認する。
2. 検証・精査	達成度について開示された情報を名古屋銀行が確認する。
3. 修正の検討	達成度・進捗度を検証し KPI の修正を検討する。
4. 追加の検討	形骸化を防ぐ為、KPI の追加や削除を検討する。

名古屋銀行は上記のプロセスにおいて、自行のサポート及びアドバイスを実施する。また、モニタリング実施状況については、株式会社格付投資情報センターに対し、包括的な年次レビューを受ける。

## 8. 総括

フジ建設株式会社の事業内容及びインパクト調査の結果、手がける事業それぞれにポジティブ及びネガティブな影響を確認した。フジ建設株式会社が KPI 達成を目指すことで社内、地域社会及び地球環境全体への大きな貢献が想定され、UNEP FI の「ポジティブインパクト金融原則」、ESG及びSDGsの観点からも十分な適合性を確認した。